（別記）

令和８年度大郷町地域水田農業推進協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

大郷町は宮城県のほぼ中央に位置し、北部と南部は丘陵地となっており、中央を東西に吉田川が流れ、その流域を中心に水田地帯が広がっている。営農形態としては水稲単一経営を軸に、肉用牛や軟弱野菜、花卉、果樹等との複合経営が広がりを見せている。

農業生産物の販売については、市場出荷がその大半を占めるが、大消費地である仙台市近郊という地理的条件から、産直施設による一定量の販売がある。

基盤整備については、全水田面積の約７０%が整備済であり、農用地区域においては９７%に達し、効率的な作業が取り組める条件が整っている。

一方、全国的な課題である後継者不足等の解消は難しいものの、親から子への農業経営の継承や農業法人への 20 代の雇用就農者も増えており、担い手の若返りが図られている。また、認定農業者、生産組織及び農地所有適格法人といった中心的経営体に農地の集積が進み、その中でも、特に大豆と飼料作物、新規需要米等の集積については、需給調整全体の過半を占めるほどの積極的な取組みがなされている。

しかし、近年は後継者不足等に加えて、イノシシ等による農作物被害が増加しているため、条件の悪い沢地などは耕作放棄地となり、事態は悪化している。

こうした現状のもと、本町では、宮城県、JA 等の関係機関と連携を図りながら、地域別の特性に適した生産振興の実施、遊休農地の有効活用、担い手確保、獣害対策等の普及、指導等を行っていく必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

宮城県のほぼ中央に位置し、夏場の気候は比較的涼しく、冬場の積雪量は少ない。本町では、令和元年度から令和2年度にかけて試験的に枝豆を栽培し、令和3年度からは、全農のサプライチェーン事業により、JA 新みやぎと連携しながら、生産から集出荷体制までの生産体制を構築し、産地化を推進してきたところである。併せて、仙台農業改良普及センターの普及活動計画の対象作物としても取り組んできた。

また、近年は高温障害等も課題になっており、高温耐性のある品種、栽培方法（播種から収穫までの時期等）について、仙台農業改良普及センターや JA 新みやぎの営農指導のもと検討を重ねているところである。

加えて令和 8 年度は、茶豆だけでなく、白毛豆（青豆）についても試験的に栽培していく予定としている。

今後も枝豆を推進することに加え、ねぎや町の特産品であるモロヘイヤについても、関係機関と連携し、収益性や付加価値の向上を図る。

なお、枝豆は生鮮出荷の他に加工部門への出荷等についても注力し、県内産のずんだの生産量を拡大し、多角的に産地化を目指す。

また、将来の担い手の育成及び確保に向けて、担い手への農地の集積、集約化を図りながら、作業効率の向上やコスト低減についても併せて推進していく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

令和 6 年度当初までは、主食用米の需要が減少傾向にあり、農地の排水性の改善や集積等に計画的に取組むためにも、地域における効率的な土地利用にも配慮しつつ、畑作物の本作化を推進してきたところである。

令和 7 年度は主食用米の需要が拡大し、増産となり、水田の利用状況を点検した結果、水稲を組み入れない作付け体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産している水田は約 142ha と前年から約 10ha 減少した。大豆等の戦略作物については、ほ場条件等を勘案し、令和 8 年度以降も引き続き、水稲を組み入れたブロックローテーションの取組推進を図る。

一方で令和９年度以降の水田活用の直接支払交付金については、大幅な見直しが予定されており、国の支援内容について情報収集を行い、今後の方針を検討していく。

４　作物ごとの取組方針等

町内約 1,750ｈａ（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（１）主食用米

米の需要を見極めつつ、ひとめぼれ、ササニシキ、つや姫、コシヒカリ、まなむすめ、みやこがねもち等の作付品種の統一をすすめ、自然環境保全と「安心・安全」の消費者ニーズに応えるべく、主食用水稲作付面積の 5 割以上を目標に「環境保全米」の取組を推進していく。特に、地域独自のブランドであるＪＡ新みやぎあさひな地区「郷の有機」特別栽培米については、地域のイメージアップ、地域産米全体の販路拡大の広告塔として位置づけ、作付拡大を図る。

（２）　備蓄米

取組なし

（３）　非主食用米

ア　飼料用米

主食用米の需要が拡大し、価格が高騰する一方で飼料価格も高止まりの状態である。今後も飼料用米の安定的な生産ができるよう継続的に推進する。併せて、産地交付金を活用した直播栽培の導入を促進し、低コスト化を図る。

イ　米粉用米

主食用米の需要が拡大しているが、米粉用米も小麦の代替として更なる需要拡大が期待されており、安定的な生産ができるよう継続的に推進する。併せて、産地交付金を活用した直播栽培の導入を促進し、低コスト化を図る。

ウ　新市場開拓用米

今後大きな需要が見込まれる新たなマーケットを切り拓いていくことは重要であり、主食用米から新市場開拓用米への転換について、継続的に推進する。

エ　WCS 用稲

主食用米の需要が拡大し、価格が高騰する一方で飼料価格も高止まりの状態である。今後も WCS 用稲の安定的な生産ができるよう継続的に推進する。併せて、産地交付金を活用した直播栽培の導入を促進し、低コスト化を図る。

オ　加工用米

取組なし

（４）麦、大豆、飼料作物

麦は、令和 7 年秋から新たに栽培が開始され、令和 8 年の収穫予定である。安定的

な生産および継続した栽培に向けて推進を図る。

大豆は、転作作物の中心作物に位置付け、5 年後においても現行の作付面積の維持または拡大を図る。併せて、産地交付金を活用した大豆 300A 技術と摘心による取り組みを普及させることにより、品質及び単収の向上を目指す。

飼料作物は、安定的な生産ができるよう推進を図る。

（５）そば、なたね

取組なし

（６）地力増進作物

取組なし

（７）高収益作物

今後、更なる地域の産地形成推進の販売作物として、「モロヘイヤ」、「ねぎ」、「えだまめ」を特別推進作物とし、地域振興販売作物として「ほうれんそう」、「玉ねぎ」、「白菜」、「ブロッコリー」、「ニンジン」、「キャベツ」、「トマト」、「なす」について、産地交付金を活用しながら、振興品目の定着化を図り、規模拡大を目指す。また、上記以外の販売する野菜についても農家所得の向上に寄与するため推進する。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	1,027.3	0.0	1,050.0	0.0	1,037.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	101.0	0.0	85.0	0.0	90.0	0.0
米粉用米	1.7	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0
新市場開拓用米	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
WCS用稲	7.4	0.0	7.5	0.0	8.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0	5.5
大豆	269.7	0.0	260.0	0.0	265.0	0.0
飼料作物	48.2	0.0	49.0	0.0	49.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高収益作物	37.4	0.0	40.4	0.0	42.9	0.0
・野菜	36.7	0.0	39.7	0.0	42.2	0.0
モロヘイヤ	0.4	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0
えだまめ	10.5	0.0	11.0	0.0	12.0	0.0
ねぎ	6.1	0.0	7.0	0.0	7.5	0.0
ほうれんそう	1.6	0.0	2.0	0.0	2.1	0.0
玉ねぎ	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0
白菜	0.3	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0
ブロッコリー	0.8	0.0	1.0	0.0	1.2	0.0
ニンジン	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
キャベツ	0.9	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0
トマト	0.7	0.0	0.8	0.0	0.9	0.0
なす	1.2	0.0	1.3	0.0	1.4	0.0
その他	13.5	0.0	14.0	0.0	14.2	0.0
・花き・花木	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
・果樹	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作物）	大豆摘心技術助成	大豆300Ａ技術＋摘心技術単収（10a）	（令和7年度）　102ha （令和7年度）　128.5kg	（令和8年度）　130ha （令和8年度）　130kg
2	ねぎ、モロヘイヤ、えだまめ（基幹作物）	特別推進作物助成	特別推進作物の作付面積	（令和7年度）　6.9ha	（令和8年度）　7.5ha
3	ほうれんそう、玉ねぎ、白菜、ブロッコリー、ニンジン、キャベツ、トマト、なす（基幹作物）	地域振興作物助成1	地域振興作物助成1の作付面積	（令和7年度）　6.1ha	（令和8年度）　6.5ha
4	整理番号2、3以外の協議会で定める高収益作物（別紙の一般作物）	地域振興作物助成2	地域振興作物2の作付面積	（令和7年度）　14.2ha	（令和8年度）　15.0ha
5	飼料用米、米粉用米、ＷＣＳ用稲（基幹作物）	直播栽培取組加算	【飼料用米】 直播栽培取組面積 10ａ当たりの作業時間（基幹4作業） 【米粉用米】 直播栽培取組面積 10ａ当たりの作業時間（基幹4作業） 【ＷＣＳ用稲】 直播栽培取組面積 10ａ当たりの作業時間（基幹4作業）	 （令和7年度）　5.7ha （令和7年度）　21.0h （令和7年度）　0.0ha （令和7年度）　0.0h （令和7年度）　1.7ha （令和7年度）　18.0h	 （令和8年度）　6.5ha （令和8年度）　19.5h （令和8年度）　0.5ha （令和8年度）　19.5h （令和8年度）　2.0ha （令和8年度）　17.5h
6	新市場開拓用米（基幹作物）	【国枠】新市場開拓用米助成	取組面積	（令和7年度）　1.0ha	（令和8年度）　1.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：宮城県

協議会名：大郷町地域水田農業推進協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆摘心技術助成	1	12,000	大豆（基幹作物）	大豆300A技術と摘心に取り組むこと。
2	特別推進作物助成	1	20,000	ねぎ、モロヘイヤ、えだまめ（基幹作物）	適正な肥培管理をし、対象作物を出荷および販売すること。
3	地域振興作物助成1	1	10,000	ほうれんそう、玉ねぎ、白菜、ブロッコリー、ニンジン、キャベツ、トマト、なす（基幹作物）	適正な肥培管理をし、対象作物を出荷および販売すること。
4	地域振興作物助成2	1	8,000	整理番号2、3以外の協議会で定める高収益作物（別紙の一般作物）	適正な肥培管理をし、対象作物を出荷および販売すること。
5	直播栽培取組加算	1	2,000	飼料用米、米粉用米、WCS用稲（基幹作物）	直播栽培に取り組み、加工用米等取組計画書が受理されていること。
6	【国枠】新市場開拓用米助成	1	20,000	新市場開拓用米（基幹作物）	加工用米等取組計画書が受理され、新市場開拓用米を出荷および販売する農業者。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

（別紙）

産地交付金助成対象作物一覧表

大郷町地域水田農業推進協議会

【地域振興作物(8)】					
作物番号	分類	作物名	作物番号	分類	作物名
1	野菜	ほうれんそう	5	野菜	ニンジン
2	野菜	玉ねぎ	6	野菜	キャベツ
3	野菜	白菜	7	野菜	トマト
4	野菜	ブロッコリー	8	野菜	なす

【一般作物】					
作物番号	分類	作物名	作物番号	分類	作物名
9	野菜	ｷｭｳﾘ	33	野菜	ベビーリーフ
10	野菜	ﾋﾟｰﾏﾝ	34	野菜	赤しそ
11	野菜	カボチャ	35	野菜	パプリカ
12	野菜	すいか	36	野菜	青さやえんどう
13	野菜	メロン	37	野菜	未成熟そら豆
14	野菜	レタス	38	野菜	セリ
15	野菜	さといも	39	野菜	冬瓜
16	野菜	れんこん	40	野菜	だいこん
17	野菜	青さやインゲン	41	野菜	ガーデンハックルベリー
18	野菜	未成熟とうもろこし	42	野菜	長芋
19	野菜	食用ばれいしょ	43	野菜	つるむらさき
20	野菜	食用かんしょ	44	野菜	とうがらし
21	野菜	アスパラガス	45	花き・花木	きく
22	野菜	おくら	46	花き・花木	その他花き※1
23	野菜	ﾊﾟｾﾘ	47	花き・花木	その他花き(けいとう)
24	野菜	しそ	48	花き・花木	ハス
25	野菜	にんにく	49	花き・花木	花木※2
26	野菜	行者にんにく	50	果樹	いちじく
27	野菜	にら	51	果樹	ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ
28	野菜	みょうが	52	果樹	うめ
29	野菜	ウルイ	53	果樹	ぶどう
30	野菜	こまつな	54	果樹	かき
31	野菜	ズッキーニ	55	その他野菜	しいたけ
32	野菜	キクイモ	56	その他野菜	わらび

（その他の品目名）

※1その他花き:ストック、トルコギキョウ、オミナエシ、小手毬、アスチルベ

※2花木:石楠花、雲竜柳、レンギョウ、ヤマザクラ